

## 平成 28 年度事業報告及び収支決算報告

### I 平成 28 年度事業報告

林業の成長産業化の実現を図るとともに、適切な森林の整備・保全等を通じて森林の多面的機能の維持・向上を図るとする国の政策の下で、これに対応するためには、森林技術の開発改良、森林技術者とくに現場技術者の育成の必要性がますます高まっております。森林技術コンサルタントに対する期待は大きいものがあります。

このため、森林技術コンサルタント協議会は、産官学が協働してこれらの諸課題の解決に取り組むとともに、森林技術者の研修にも努めてきたところです。特に、公益社団法人森林保全管理技術研究所との連携を強化するとともに、運営委員会に設置した専門部会の活動を活性化し、これら諸課題の情報収集、調査研究、新たな技術の体系化、実用化を進めてまいりました。また、その成果をもとに、関係官庁の技術担当部局との意見交換を行うことにより、諸制度の改善等へ寄与してきたところです。

また、本年度は、会員の資質・意欲の向上を図るとともに、会員の技術力の社会的評価を高めるために、関係行政機関等の指導・支援を得て、本会の表彰制度の検討を行い、基本的な考え方を取りまとめたところであります。

主な事業項目と内容は下記のとおりです。

#### 1. 総会・理事会等

##### (1) 総会

###### 1) 通常総会

開催日 平成 28 年 5 月 25 日 (水) 15:30~17:00  
開催場所 日林協会館 3 階大会議室  
議題 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び収支決算報告  
第 2 号議案 その他

##### (2) 理事会

###### 1) 第 1 回理事会

開催日 平成 28 年 5 月 25 日 (水) 14:00~15:00  
開催場所 日林協会館 3 階大会議室  
議題 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び収支決算報告  
第 2 号議案 その他

###### 2) 第 2 回理事会

開催日 平成 29 年 3 月 24 日 (金) 15:00~17:00  
開催場所 日林協会館 4 階中会議室  
議題 第 1 号議案 平成 29 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について  
第 2 号議案 表彰制度の制定について  
第 3 号議案 その他

### (3) 運営委員会の開催

#### ○ 運営委員会（表彰制度）

開催日 平成29年1月17日

開催場所 森林技術コンサルタンツ協議会会議室

議 題

(1) 表彰制度の創設について

(2) 表彰制度検討WGの設置について

※上記のほか、必要に応じて適宜開催。

## 2. 事業報告

### (1) 森林技術の調査研究を通じた技術開発・蓄積・普及・啓発の推進

#### 1) (公社) 森林保全・管理技術研究所との連携

森林保全・管理技術研究開発事業については、本年度は、後期五カ年計画に基づき、次の研究開発等を行った。

##### (i) 研究開発課題

① 地すべり対策技術の現状と今後のあり方

② 高能率作業システムと森林基盤整備のあり方

③ 木材生産林における水土保持技術の確立

④ 里山における森林整備のあり方

⑤ 森林調査等におけるレーザ計測（航空・地上）活用手法の開発

(ii) 森林保全・管理技術デジタル・アーカイブの作成

(iii) 森林保全・管理技術の普及啓発

#### 2) 専門部会の活動

##### ① 専門部会・打合せ

日 時：平成28年8月23日（火） 15：30～17：00

議 題：設計積算改訂に関する課題，設計変更ガイドライン，現地検討会など

##### ② 林野庁打合せ会議

日 時：平成28年11月17日（木） 16：00～17：00

議 題：コンサル協議会の要望に関する林野庁の回答と説明ほか。

### ③森林技術情報検討会議

日 時：平成 28 年 12 月 9 日（金） 15：00～17：00

場 所：日林協会館 4F 中会議室

出席者：林野庁担当者 8 名、コンサル協議会 8 名

議 題：森林整備保全事業の調査、測量、設計及び計画業務積算要領（改定）  
他

### ④林野庁打合せ会議

日 時：平成 29 年 1 月 27 日（金） 15：30～17：00

議 題：溪間工に関する業務仕様書等の改訂ほか。

## (2) 森林技術者の技術力の向上のための継続教育の推進

- 1) (一社)森林・自然環境技術者教育会及び(一社)森林保全・管理技術研究所が主催する森林分野 C P D 研修会を開催し、広報、資料作成、講師選任、参加者募集、会場準備、研修会運営などを行った。

### ①森林技術者講習会（福島）

日 時：平成 28 年 7 月 28 日

場 所：福島市：コラッセふくしま

講師・演題：

- ・「森林整備保全事業の調査設計に関する留意事項」  
池田 修（関東森林管理局治山課治山技術専門官）
- ・「放射能と森林－2015年の現状－」  
赤間亮夫（元 森林総合研究所企画部放射性物質影響評価監）
- ・「森林事業におけるUAV空撮の利活用について」  
山村 充（国土防災技術株式会社技術本部試験研究所課長補佐）

### ②森林土木事業技術講習会（前橋）

日 時：平成 28 年 10 月 28 日

場 所：前橋市：前橋テルサ

講師・演題：

- ・「群馬県の治山事業と災害について」  
鈴木秀雄（群馬県環境森林部森林保全課長）
- ・「関東森林管理局管内の治山事業について」  
岡本雅人（関東森林管理局計画保全部治山課長）
- ・「降雨および森林が斜面崩壊に与える影響評価の試み」  
執印康裕（宇都宮大学農学部森林科学科教授）

③森林技術者研修会（大阪）

日 時：平成 28 年 10 月 31 日

会 場：大阪市：北浜フォーラム

講師・演題：

- ・「UAV で取得した空間情報の森林整備・治山事業での利活用」  
真弓孝之（国土防災技術株式会社技術本部技術開発部第二・第三技術開発センター長）
- ・「森林土木で必要な応用地形・地質学の知識」  
松浦純生（京都大学防災研究所地盤災害研究部門傾斜地保全研究分野教授）
- ・「最近における近畿中国森林管理局の治山対策の取組状況と技術的課題について」 小崎浩文（近畿中国森林管理局計画保全部治山課 設計指導官）

④森林技術者講習会（長野）

日 時：平成 28 年 11 月 2 日

会 場：長野市：JA 長野県ビル

講師・演題：

- ・「災害から学ぶ～平成 28 年 9 月関東・東北豪雨を例として～」  
桜井正明（(株)山地防災研究所所長）
- ・「海岸防災林の復旧・再生について」  
水野 明（中部森林管理局治山課長）
- ・「地すべり・崩壊のメカニズム(熊本地震)」  
落合博貴（日本地すべり学会会長）

⑤「平成 25 年版治山技術基準 解説（地すべり防止編） 手引き」講習会

日時：平成 28 年 12 月 15 日

会場：前橋市：前橋さくらホテル

講師・演題

- ・「地すべり対策技術の現状と今後のあり方に関する調査研究「地すべり防止編」手引き作成の趣旨説明」、  
河合英二（(公社) 森林保全・管理技術研究所）
- ・「事業の定義及び目的、地すべり調査解析（総説～地下水調査）」  
黒川 将（国土防災技術（株））
- ・「地すべり調査解析（地表移動量・地中変動量調査及び機構解析）」  
滝口 潤（明治コンサルタント（株））
- ・「地すべり防止工測量および水路工・治山ダム工等の計画設計」  
矢野間敬男（(株) 森林テクニクス）
- ・「地すべり防止工事計画と地すべり防止工の設計」  
榎田充哉（国土防災技術（株））

## 2) 森林部門技術士第二次試験受験講習会開催

日 時 平成29年3月10日(金)

会 場 日林協会館3階大会議室

受講者 17名

講師・演題：

奥谷 由行：①技術士制度

②技術士試験の見直し

③業務経歴票の書き方

④口頭試験対策

下山 晴平：①筆記試験問題の傾向と対策

②技術士試験のための文章の書き方

本山 芳裕：森林政策・森林技術の動向

石井 剛：私の受験対策

## 3) 森林技術基礎研修

日 時 平成28年4月14日(木)～15日(金)

場 所 日林協会館5階大会議室

受講者 20名 森林技術コンサルタント協議会会員の職員のうち、入社5年程度以内(または、森林技術コンサル業務経験5年程度以内)

講師・カリキュラム

大西 満信：治山技術基準の解説

奥谷 由行：林道規程基準の解説

鎌滝 晋：作業システムと路網計画

弘中 義夫：技術者倫理と継続教育(CPD)

小山 浩之：森林環境保全と森林土木

## 4) 測定事業講習会

日 時 平成28年5月13日(金) 13:00～17:00

場 所 群馬県前橋市本町二丁目16番1号

前橋さくらホテル TEL 027-231-3211

受講者 75名

講 師 関東森林管理局 保全課 測定技術指導官 垣田 哲哉  
技術開発主任官 白木 智

## 5) 平成28年度設計積算歩掛改訂に関する説明会

日 時：平成28年4月5日(火) 14:00～17:00,

場 所：日林協会館3階大会議室

講 師：林野庁担当官3名

参加者：35社 49名

## 6) 現地研修会

日 時：平成 28 年 11 月 7 日（月） 11：00～16：00

テーマ：「海岸防災林再生のための治山事業について」

視察地：・宮城県仙台市荒浜地区民有林直轄事業施工地。

・宮城県岩沼市千年希望の丘。・宮城県寺島川植栽試験地。

講 師：仙台森林管理署 署長・海岸防災林復旧対策室長

参加者：31 名。

## (3) 森林技術コンサルタント事業に携わる業界の社会的使命に関する宣伝、啓発、指導及び助言

談合等の不法行為の排除や企業コンプライアンスの徹底により、適正な競争環境を維持する努力を続けるが、ダンピング受注に伴う成果品の品質低下が顕在化など、発注者や施工業者からの指摘をうけ、「倫理綱領」及び「職業倫理行動規範」の徹底を図るなど、品質確保の取り組みを推進した。

## (4) 政府及び公共団体等に対する意見の具申及び提言

日 時 平成 28 年 9 月 12 日（月）

陳情先 林野庁国有林野部長

陳情者 小林会長他運営委員

- 1) 林野公共予算の確保－国土保全、森林整備対策の拡充
- 2) 総合評価落札方式対象事業の一層の拡大
- 3) コンサルタント業務への林野庁長官表彰制度の導入、総合評価落札方式への反映
- 4) 入札制度、調査・設計事業等の実施にあたって、局署間での運用の考え方の統一
- 5) 総合評価落札方式における森林技術者のさらなる評価
- 6) 本協議会専門部会の活動への継続的な支援及び活用

## (5) 広報活動の推進

E-mail（同報メール）及び本会ホームページを活用して積極的な広報活動を行った。

(6) 緑化啓蒙活動等の推進

「水都おおさか森林の市 2016」に参加し、災害に対する森林技術コンサルタントの果たす重要な役割等について、広く市民にPRを行った。

日 時：平成 28 年 10 月 2 日（日）

場 所：毛馬桜乃宮公園

参加会社：国土防災技術株式会社大阪支店  
株式会社森林調査設計事務所関西支店  
株式会社森林テクニクス大阪支店  
明治コンサルタント株式会社大阪支店  
株式会社大町測量  
株式会社森林コンサルタント  
アジア航測株式会社大阪支店  
（一社）森林計画センター近畿中国支部